

国際会議開催奨励事業報告書

Report of encouragement program for international conference held

(理学研究科・研究科長裁量経費)

Argo 計画は、自律型観測フロートを用いて世界中の海洋を継続的に観測する国際共同プロジェクトです。近年は、水温・塩分(Core)だけでなく、生物地球化学(BGC)、深層(Deep)、極域(Polar)の観測へと発展し、これらを統合した次世代海洋観測システム「OneArgo」への移行が進められています。

Core、BGC、Deep、Polar Argo の各分野における最新の活動状況や研究事例、課題を共有するとともに、OneArgo の実装に向けた将来戦略について議論を行うことを目的とし、2026 年 6 月 1 日～2 日、東北大学青葉山キャンパスにおいて、国際ワークショップ「International Workshop for OneArgo」を開催しました。本ワークショップは現地とオンラインを組み合わせたハイブリッド形式で実施しました。現地参加者は約 30 名で、オンラインには最大で約 60 件の接続があり、国内外から多くの研究者が参加しました。

さらに、2 日目午後にはサイドイベントとして「BGC-Argo Tutorials」を開催し、BGC-Argo データの解析方法を学ぶ実践的なチュートリアルを実施しました。若手研究者や学生を含む多くの参加者が、Python を用いたデータ解析手法について理解を深める機会となりました。

OneArgo は、文部科学省「ロードマップ 2023」において「統合全球海洋観測システム OneArgo の構築と海洋融合研究の推進」として位置付けられ、東北大学が実施主体、海洋研究開発機構(JAMSTEC) および気象庁が連携機関となっています。本ワークショップの開催を通じて、OneArgo の推進に向けた国際的な連携をさらに強化するとともに、東北大学の国際的プレゼンスの向上にもつながりました。

